小学部

未来へつながる「今」の過ごし方

将来の自立に向けたステップと家庭での取り組み



NotebookLM

未来につながる今の過ごし方

１　進路指導及び進路状況について

２　将来に向けて身に付けておきたい力

３　児童が利用できる福祉サービスについて

本校の12年間の成長のロードマップ



小学部

【基礎の構築】

社会生活に必要な基礎的・基本的な力を身に付ける（生活習慣の確立、コミュニケーションの土台）。



中学部

【経験の拡大】

基礎を土台に、働くことへの関心や社会参加に必要な力を広げる（職場見学、生活経験の拡大）。



高等部

【実践と決定】

実践的な学習を通して、社会に出ていくために必要な知識・態度・習慣を身に付ける（実習、進路選択）。

NotebookLM

中学部・高等部卒業後には、様々な進路の選択肢について

中学部
卒業時

本人の
自己選択

高等部進学



施設等
入所・通所



就職



高等部
卒業時

本人の
自己選択

福祉事業所
（入所・通所）



職業訓練校等
への進学



企業就労
（療育手帳等を活用した
障害者雇用）



NotebookLM

過去3年間の卒業生の進路状況



企業（一般）就労
・障害者雇用での就労

福祉的就労
・就労移行支援
・就労継続支援A型
・就労継続支援B型

生活支援
・生活介護
・自立訓練

福祉的就労や生活支援を利用する生徒が多くを占めます。サービス内容だけでなく、「お子さんの目指す将来に合うか」を実際に見学して選ぶことが重要です。

NotebookLM

「経験・体験」の積み重ね
～将来に向けて身に付けておきたい力～



- 家族内の役割分担
（衣服をたたむ、掃除など）
- 日常生活の積み重ね

- 集団生活の体験
- 係・当番活動を通した責任感

- 放課後等デイサービス
- 地域行事への参加
- 公共交通機関の利用

「これさえできれば正解」という絶対的なものはありません。
大切なのは、一人ひとりの個性に合わせて「挑戦できる機会」を与えることです。

NotebookLM

「経験・体験」の積み重ね
～将来に向けて身に付けておきたい力～



経験から得られる「成功と失敗の積み重ね」が、そのまま将来を支える4つの大きな力に変換されます。

NotebookLM

「経験・体験」の積み重ねの実例①
～将来に向けて身に付けておきたい力～

①小学部での取り組み	②育まれた本質的な力	③将来（就労・事業所）での姿
家の役割で タオル畳み	丁寧さ、 手先の正確性	事業所での実習内容がタオル畳みになり、 丁寧さが評価され現在も就労中。
ICカードを使った 電車・バス利用	自己解決力、 ルート記憶	計算は苦手でも、自力で公共交 通機関を利用して安全に通勤。
衣服の着脱を 自分で取り組む	「どこまで自分で できるか」の把握	全て他者に頼るのではなく、 必要な部分だけ適切に支援を 依頼できる。



NotebookLM

「経験・体験」の積み重ねの実例②
～将来に向けて身に付けておきたい力～

①小学部での取り組み	②育まれた本質的な力	③将来（就労・事業所）での姿
小学部でのグループ活動や、友達との遊びを通じた関わり合い。	自分の気持ちを伝える力、相手の話を聞く力。	就労・事業所での円滑なコミュニケーション。 報告・連絡・相談ができる。
小学部での規則正しい生活習慣の確立（早寝早起き、食事など）。	体内時計の安定、 体調管理能力、 基本的な生活リズム。	安定した就労・通所。 毎日決まった時間に活動できる。
小学部での係活動や、ルールを守る経験の積み重ね。	責任感、社会のルールやマナーの理解。	職場でのルール遵守、 周囲と協力して働く姿勢。



NotebookLM

ご家庭で実践できる3つのステップ
～将来に向けて身に付けておきたい力～



家庭

学校

関係機関

1 **見守る姿勢**：決めつけず、できることは伸ばし、苦手なことにも少しずつ「挑戦」させてあげてください。

2 **振り返りの共有**：成功体験・失敗体験を一緒に振り返り、次の小さな目標を設定しましょう。

3 **チームで支える**：学校や関係機関と連携しチームで支えていきましょう。

NotebookLM

児童生徒の成長とご家庭を支える、主な福祉サービスについて

日中・お休みの日

放課後等デイサービス

放課後や長期休暇の居場所・成長サポート



日中一時支援

家族の用事や休息時の日帰り預かり



夜間・宿泊

短期入所 / ショートステイ

家族の休息や急用時のお泊まり



目的や状況に合わせて、これらのサービスを組み合わせて利用できます。

NotebookLM

福祉サービスを効果的に活用することで、得られる児童のメリット

生活能力の向上

日常の基本動作やルールを学びます。



人や集団との関わり

家族や先生以外の人と触れ合い、コミュニケーションを楽しみます。



社会参加

地域社会へのお出かけを通じて、外の世界に慣れていきます。



将来の準備

卒業後の自立した生活に向けた土台づくりになります。



NotebookLM

福祉サービス開始に向けて「4つのステップ」

STEP1



市町村の窓口へ相談

お住まいの市町村の障害福祉担当課へ。

STEP2



相談支援事業所の決定

学区内に多数ある事業所から選び、「障害児支援利用計画」の作成を依頼します。

STEP3



計画作成と支給決定（受給者証発行）

専門員がニーズに合わせて計画を作成。市町村から利用の許可が出ます。

STEP4

事業所と契約・利用開始

利用したいデイサービス等と直接契約し、スタート！



NotebookLM

子どもたちの「今」の笑顔が、未来の自立への第一歩です



焦らず、比べず、一人ひとりのペースで。
学校・家庭・地域のチーム全員で、
子どもたちの成長を見守り、支えていきましょう。

NotebookLM